

# 1月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和7年1月24日(金)
開催日時	午前11時25分
開催場所	別館3階大会議室
出席委員	教育長 江嶋 久典 職務代理者 古田 嘉寿美 委員 木下 靖郎 委員 佐々木 美德 委員 荒川 富士子 委員 山崎 清男
出席参与	教育次長 瀬口 英隆 教育総務課長 伊藤 恭子 スポーツ振興課長 古城 智浩
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 渡辺 寛幸
附議議案	議案第1号 日田市B&G海洋センターの管理に関する条例施行規則の一部改正について 報告第1号 令和6年12月期寄附採納について

<p>教 育 長</p>	<p>ただいまから1月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに12月定例教育委員会の議事録の確認でございますが、変更はありませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただきましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の一般報告につきましては、お手元に配布しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第1号 日田市B &amp; G海洋センターの管理に関する条例施行規則の一部改正について説明をお願いいたします。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>議案第1号 日田市B &amp; G海洋センターの管理に関する条例施行規則の一部改正について説明いたします。</p> <p>議案集は、1ページから5ページに記載しております。</p> <p>まず概要につきまして、5ページをお願いいたします。</p> <p>議案提出の理由でございますが、「日田市B &amp; G海洋センターの管理に関する条例の一部を改正する条例」が令和2年4月1日に施行されましたことに伴い、条項の移動等が生じておりますことから、所要の整備を行うものでございます。</p> <p>今回の規則改正につきましては、令和6年11月から12月にかけて、監査事務局により財政援助団体の監査が行われました。その際に日田市B &amp; G中津江海洋センター管理運営業務が監査対象として選定されておりました、当該監査において日田市B &amp; G海洋センターの管理に関する条例、それから、今回改正いたします条例施行規則につきまして、条項のずれを口頭により指摘をいただいたことがございました。</p> <p>本来でありましたら、令和2年の条例改正の際に、同時に施行規則の改正も行うべきものでございました。</p> <p>次に条例改正の主な内容でございますが、日田市B &amp; G大山海洋センターへの指定管理者制度の導入に伴いまして、指定管理者が行う業務や管理期間について定める規定を追加したほか、「教育委員会」を「指定管理者」に、「使用料」を「利用料金」にそれぞれ名称を改めたものでございます。</p> <p>規則改正の主な内容につきましては、議案集1ページをお願いいたします。</p> <p>まず、条例の改正に伴いまして、引用条項が繰り下がりましたことから、規則第2条中、利用申請に関する引用条項を第5条から第8条に、規則第4条中、利用料金の減免に関する引用条項を条例第13条から第16条に、規則第5条中、利用料金の還付に</p>

	<p>関する引用条項を条例第14条から第17条に整理を行ったものでございます。</p> <p>次に利用許可に関する業務を行う主体でございますが、規則第2条及び第3条中に記載しております「教育委員会」を「指定管理者」に改めております。</p> <p>また、使用料に関する規定でございますが、こちらは規則第4条、第5条、それから資料3ページの別表にあります「使用料」を「利用料金」に改めております。</p> <p>あわせまして、資料2ページでございます改正前の第7条ですが、教育委員会が指定管理者に管理を行わせる場合の準用規定を削除するものでございます。</p> <p>施行の時期につきましては、公布の日からとしております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のありました議案第1号につきまして、ご質疑等 はございませんでしょうか。</p> <p>本来であれば令和2年度に改めておくべきものであったということ でございます。</p> <p>議案第1号につきまして原案の通り可決してよろしいでしょうか。 (「はい」と呼ぶ者あり)</p> <p>議案第1号 日田市B&amp;G海洋センターの管理に関する条例施行規則の一部改正については、原案の通り可決されました。</p> <p>次に報告事項について説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>議案集の6ページをお願いいたします。</p> <p>報告第1号 令和6年12月期寄附採納についてでございます。</p> <p>まず、地区寄附の採納が3団体2名の6件でございますが、1件目が、清水町の井上様から三和小学校へ、図書購入費として5万円のご寄附をいただいております。また、2件目も同じく井上様から北部中学校へ、図書購入費として5万円のご寄附をいただいております。井上様には平成13年から毎年、同様のご寄附をいただいているところでございます。</p> <p>3件目が三河町の檜原様から小野小学校へ、図書購入費として3万円のご寄附をいただいております。小野小学校の子どもたちにたくさん本を読んでほしいという思いから、令和3年から継続してご寄附をいただいているところでございます。</p> <p>4件目は、五反田病院理事長 五反田清和様から若宮小学校へ、学校教育活動における備品購入費として10万円のご寄附を</p>

	<p>いただいております。五反田病院様からは、平成13年から継続して同様のご寄附をいただいております。</p> <p>5件目は、桂林小学校育友会様から桂林小学校へ、55型液晶ディスプレイ5台、42万3,500円相当のご寄附をいただいております。授業においてタブレットやDVDの映像を映し出すなど、教育振興に役立てほしいとのことでご寄附いただいたものでございます。</p> <p>6件目は、戸山中学校育友会様から戸山中学校へ、加湿器2台、5万5,600円相当のご寄附をいただいております。教室内の湿度を保つなど、教育環境の整備にご寄附いただいたものでございます。</p> <p>次に、一般寄附の採納が1団体1名の2件でございます。1件目が、下井手町の小野様から教育委員会へ、箏1面をいただいております。中学生が音楽の授業で使用する際に役立ててほしいとのことでご寄附いただいたものでございます。</p> <p>2件目は、IBCパブリッシング株式会社様から淡窓図書館へ、ラダーシリーズの図書155冊、15万5,342円相当のご寄附をいただいております。</p> <p>ラダーシリーズは、英語の図書でございますが、読む人のレベルに応じて使用する単語を限定したやさしい英語で書かれており、多読・速読に適した図書でございます。中学生や高校生の英語教育のため、寄贈されたものでございます。</p> <p>12月につきましては、以上8件、金額が23万円、物品相当額が63万4,442円、合計86万4,442円のご寄附をいただいております。</p> <p>報告第1号につきましては以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいまの報告につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。多くのご寄附を大変ありがとうございます。</p> <p>報告につきましては以上となります。</p> <p>その他についてお願いします。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>令和7年2月期の定例教育委員会は、2月17日月曜日、13時30分から勉強会、14時30分から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p>
教 育 長	<p>2月定例教育委員会の日程は、ただいまの説明のとおり、2月17日月曜日ということでございますがよろしいでしょうか。</p>

<p>荒川委員</p>	<p>(「はい」と呼ぶ者あり)</p> <p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>中学生の英語力の低下について、知り得たこととご提案があるのですが、よろしいでしょうか。</p> <p>私の地域のお子さんには三隈中に通っている子が多くて、先週末に遊びに来たんです。ゲームの一つとしてこういうカードを見せたところ、ほとんど読めないんですよ。英語の単語が読めないという状況で、学校では点数はどのくらいなのと聞いたところ、「100点中の10点行くか行かないかぐらい」とその中学校1年生は言っていました。2年生に関しては、be動詞と一般動詞の区別がつかないということでした。</p> <p>学校でどうしているのと聞くと、「分からないから英語は嫌いなんだ。興味も意欲もない。分かるようにはなりたいんだけど、分かる気がしない。」というようなことを言っていました。</p> <p>これは三隈中に関してなのですけど、水曜塾というものがあって、そこでは数学をフォローしてくれると聞いています。</p> <p>「じゃあ、英語は？」と聞くと、「英語は分からない。多分みんなこんな感じだよ。できる子が少数なんだよ」と言っていたのは、ちょっと問題だなと思いました。</p> <p>そして、今日聞いたのですけれど、スタディサポートというものがアオーゼで週1回やっていると聞きました。</p> <p>対象者は不登校生徒ということで、教えている人が私の元生徒だったので、聞いてみると8人ぐらいしか来ていなくて、なかなか定着もしていないということなのですが、ここで申し上げたいのは、塾に行けない子だったり、学校の働き方改革を考えると、学校で何かをするということは難しいのかなと。</p> <p>できればこういったスタディサポートを、不登校に限らず、学力が落ちている子に、必要な子どもに必要な情報を届ける。必要な情報が届いているかどうかを確認するということが、今、急務なのではないかなと思いました。</p>
<p>教育長</p>	<p>必要な人に必要な情報を届けるということ、届いているかどうかということ、こういったことについては、教育委員会としてもしっかり何らかの対応をした方がいいのではないかというご意見だったと思っております。</p> <p>昨年4月、不登校の対応について、12月議会でも3人の議員から質問がありましたので、その時にもお答えしたのですけれど</p>

	<p>も、学力ということだけではないのですが、不登校対策について日田市がどのようなことをやっているのか、日田市教育委員会として対応していること、それからそういった子どもたちへの支援の場としてこういったものがあるのかということについて、全戸配布の市報で、こういった内容がございますとお伝えしたところ です。</p> <p>もちろん、学校にも同じものを配布し、学習ができる県教委の事業であったり、日田市の事業であったり、その中で一度は紹介しているところでもありますけれども、直接子どもたちに届いているかどうかということについては、もう一度確認をしたいと思っております。</p> <p>県がアオーゼで行っている事業としてこういうものがありますというのをお知らせしていますし、相談事業としてこういったところでも受け付けていますということをお知らせしていますが、そこについてはもう一度、校長会等を通じて確認してみたいと思っております。</p>
山 崎 委 員	<p>荒川委員のおっしゃっていた英語力についてですが、私はまだ十分に掴んでいないのですけれども、日田市の中学校の全国学力テストの英語のレベルはどうだったのですか。</p>
教 育 長	<p>議会等では学力についてもきちんとお答えしておりますけれども、ここ1、2年、学校の落ち着かない状況とともに、少し学力の低下の兆しが進んできておりました。</p> <p>特にその中でも英語は、全国レベルや県レベルと比較してみても、少し厳しい状況がございました。</p> <p>これまでは、中学校の英語検定なども取り入れながら、まずは子どもたちに英語に対する興味・関心を高めるというところから取り組んできたところですが、なかなか分からない、理解できない。</p> <p>小学校のときは英語活動から始まるのですが、書くこととは別にいろんなやり取りをすることで、一生懸命興味を持たせているのが、中学校に入った途端に書く活動などもたくさん取り入れられてくるので、そこで英語に対する中1ギャップが起こっているということなどもありますので、今はそのことについて、学力向上の中でも対策を進めているところであります。</p>
山 崎 委 員	<p>大分県は数学がずっと低かったのですけれども、各市町村によってレベルの違いがあるのか分かりませんが、今の話は日田</p>

<p>教 育 長</p>	<p>市の1つの課題と言っていいのでしょうか。</p> <p>どこに原因があるのかどうか分かりませんが、だからこそ、分かりやすいとか授業改善などを進めて、教師の力量を付けることが求められていることの1つなのかなと思います。</p> <p>英語や数学というのは比較的差が付きやすいところがありますからね。単に数字で表れるものだけがいい訳ではないのですけれど、やはり一定レベルを維持するという事は、今後のためにも必要だろうと思って話を伺っていました。</p> <p>もう1つは、今盛んに言われている個別最適という言葉ですけど、一斉授業ではなかなか厳しいところもあるので、学校の中ではその工夫というものが求められているんですね。</p> <p>しかし、それに対応するための環境整備が十分整えられているかという、残念ながら学校にとっては十分な体制とは言えないと思います。</p> <p>場所であったり、対応する人間の問題であったりと、授業の中で工夫するために、学習内容の組み立てを工夫して、個別にできるような内容もその中に組み込んでいこうと学校ではやっておりますけれど、荒川委員からご意見がありましたように、学校だけではなかなか厳しいところもあるのではないかと思います。</p> <p>ご意見の1つとして、一体どういった取組があって、どこに行けばそういったことに対応してくれるのかということについても、もう一度整理してみないといけないのかなということも改めて思っております。</p>
<p>荒 川 委 員</p>	<p>基礎力という意味では、数学も面白いと思うのですが、分からないところまで戻らなければならないということなので、例えば学校から出られないという状況であれば、学校にボランティアの方に来てもらうとか、有料となるかもしれませんが塾などを経営している人に来てもらうとか、何かしらの支援はあるのではないかと感じました。</p> <p>例えば幼稚園だったら、私は幼稚園生も教えたりしますが、幼稚園の課外活動として教えて、問題なく学校に入学させる。このカードが読めないということは、一つずつの音が取れていない。小学校1年生以前の問題だと思うんですね。</p> <p>そこまでを全体で行うのは難しいので、おっしゃる通り個別といますか、切り離した時間でできることがあるのではないかと考えた次第です。</p>

教 育 長	<p>中学校で行っている水曜日の放課後の学習については、小学校の算数などに少し後戻りするときに、退職した先生方であればそのあたりは対応できるのではないかとお願いしているというところもあります。</p> <p>ただ、英語となるとなかなか難しく、そういった人員、人材を確保するということが非常に難しいところもありますので、今言ったような政策ができるのかどうかは検討する必要もあるのかなと思っております。</p> <p>これは学力向上にも関することなので、いろんな場面や機会を捉えて、またご意見をいただきたいと思っております。</p>
荒 川 委 員	<p>学校に行ってもその授業だけ、不安な時間をあと何年積み上げるのかと思うと気の毒で、助けてあげたいと思いました。</p>
教 育 長	<p>私の学校現場で長年過ごしてきた教員の感覚としては、英語の先生方が一番授業改善には努力してきたと感じています。</p> <p>昔の英語の授業とは全く違います。私は勉強が得意な子も不得意な子も一緒になって勉強している姿も見てきましたので、学校でもそれは可能だと思っています。ある程度の基礎の部分については、そういった方向を目指しながら、現実的に難しい部分もありますので、今のご意見をいただきながら、これからも考えていきたいと思っております。</p> <p>では、今日のところは一旦これぐらいでよろしいでしょうか。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>ご意見がなければ、以上で1月定例教育委員会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午前11時46分</p>